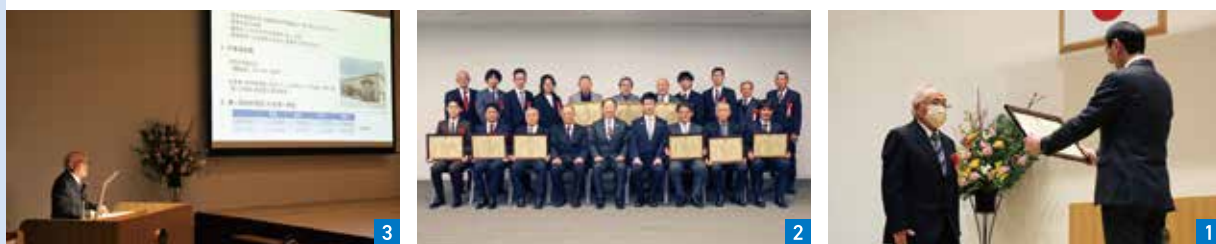


令和4年度秋田市農業大賞に（農）平沢ファーム



2月7日（火）、秋田市農業大賞の表彰式が秋田市役所正庁で開かれました。令和4年度の秋田市農業賞には、高品質な農産物の生産や農地の維持活動などが模範的な2団体4個人が選出され、秋田市雄和の（農）平沢ファームが大賞を受賞しました。

同ファームは平成26年に設立し、現在は水稲38・7ヘクタールと大豆43・5ヘクタールのほか、園芸メガ団地で枝豆とネギ、ダリアを手掛けています。枝豆とネギは作業効率や品質の向上に取り組んで市内トップクラスの出荷量を実現し、ダリアは第144回秋田県種苗交換会で農林水産大臣賞を受賞するなど多くの品評会で入賞を重ねており、栽培技術の高さに定評があります。齊藤又右衛門代表理事は「これからも地域農業の発展に尽力していきたい」と話し、地域活性化を目指した経営方針などを発表しました。

農業子ども絵画コンクールでは、市立東小4年の三浦晴紀さんが雑草を力強く抜く様子を描いた「草と格闘するぼく」が最優秀賞に輝き、入選した小学生10名に表彰状が贈られました。市農政協力員15名の永年勤続表彰も行われました。

大賞以外の秋田市農業賞の受賞者は次の通りです。（敬称略）

▽経営体部門土地利用型の部Ⅱ佐藤慶信（同市下新城）、ファームビルド（株）（同市金足）▽経営体部門園芸生産の部Ⅱ伊藤錚悦（同市雄和）▽若手農業者部門Ⅱ沢田石武瑠（同市四ツ小屋）▽地域活性化部門Ⅱ島田雄一郎（同市河辺）

- 1…園芸品目の生産振興などに励んでいる点が評価されました
- 2…地域農業の発展や農政への尽力が称えられた皆様
- 3…園芸メガ団地の経営概要を説明する齊藤代表理事

NEWS & TOPICS

ネギ実績検討会・栽培講習会

2月10日（金）、ネギの実績検討会が追分生活センターで開かれました。生産者や関係者約50名が参加し、令和4年度の販売動向などが報告されました。当JAの今年度の出荷量は528・7トンで、販売額は1億367万円に上りました。全国各地で発生した大雨被害や腐敗症状の影響で、高単価傾向の年となりました。

同日、栽培講習会が行われ、腐敗症状への対策や複数品種の使い分けによる適期収穫、適切な苗の管理などへの理解を深めました。会場内には農業用資材メーカー3社のコーナーも設けられ、ネギに効果的な肥料や育苗培土などが紹介されました。

秋田市産イチゴの出荷期到来

秋田市産のイチゴが旬を迎え、当JA直売所「いぶきの里」「あぐりんなかいち」の店頭に並んでいます。2月9日（木）には秋田市豊岩の（農）白華の郷の武藤真作代表理事がJA秋田なまはげ会館を訪れ、佐藤広美組合長に生育経過などを報告しました。同法人は冬期の農業収入や雇用の確保などのため、令和2年からイチゴの大規模施設栽培に取り組んでいます。

秋田市内では同法人と秋田市園芸振興センターがイチゴを栽培しており、例年5月まで収穫しています。当JA直売所への入荷時期や数量によっては売り切れの場合がございますので、ご了承ください。



旬を迎えたイチゴ



病害虫対策などを確認しました